

令和7年度学術講演会 報告

土木学会四国支部主催の令和7年度学術講演会が「能登半島地震の教訓と南海トラフ地震への備え」のテーマの下に開催された。

日 時：令和8年2月24日（火）13：10～14：50

場 所：高松市 サポートホール高松61会議室

参加者：74名

プログラム

13：10 開会 松崎支部長あいさつ

13：15～14：45

講師：高知大学教育研究部自然科学系理工学部門 原忠教授

講演テーマ：「能登半島地震の教訓と南海トラフ地震への備え」

概要：令和6年能登半島地震では、奥能登地域が強い地震動や液状化、津波により甚大な被害を受けた。本講演では、地震被害の概要と発災後の時間経過に伴う地域の実態を紹介し、さらに今後想定される発生確率が高い南海トラフ地震を見据え、土木工学の観点から必要な対策を検討する

14：45 閉会 田中幹事長あいさつ

